

## 2. 基準消防力と現有消防力の比較

区 分		基 準 (A)	現 有 (B)	比 較 (B-A)	
車 両 等	指 揮 車	1	1	0	
	消 防 ポンプ 自 動 車	5	5	0	
	は し ご 自 動 車	1	0	△1	
	化 学 自 動 車	1	0	△1	
	三 セ ッ ト	大 型 高 所 放 水 車	1	1	0
		大 型 化 学 車	1	1	0
		泡 原 液 搬 送 車	1	1	0
	救 助 工 作 車	1	1	0	
	救 急 自 動 車	3	3	0	
	特 殊 車 等	1	1	0	
消 防 艇	1	0	△1		

※ 1 はしご自動車及び化学自動車を現有していないのは、三点セットの大型高所放水車及び大型化学車で、それぞれ代替できるため。

※ 2 消防艇を現有していないのは、応援協定を締結（名古屋市及び名古屋海上保安部）して対応しているため。

区 分	基 準 (A)	現 有 (B)	比 較 (B-A)
指 揮 隊 員、消 防 隊 員 救 急 隊 員、救 助 隊 員	119	76	△43
通 信 員	5	4	△1
予 防 要 員	17	7(2)	△8
庶 務 の 処 理 等 の 人 員	10	17	8
合 計	151	104(2)	△45

※ 基準欄は、基準台数に対する人員である。

※ ( ) 内は、再任用短時間勤務職員